



坂小っ子だより（第63号）

五ヶ瀬町立坂本小学校 H27, 15号

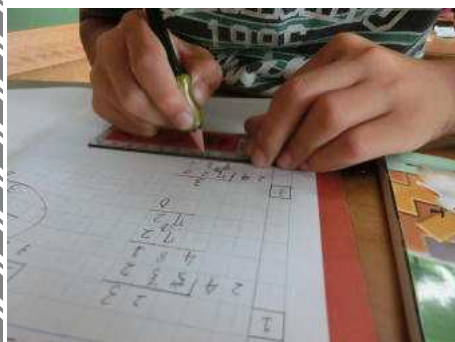
平成27年11月 9日(月)

西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所3446番地

TEL 82-0588 FAX 82-0589 (文責 山下)

「『ていねいさ』は学力向上の合い言葉！」

校長 山下 多門



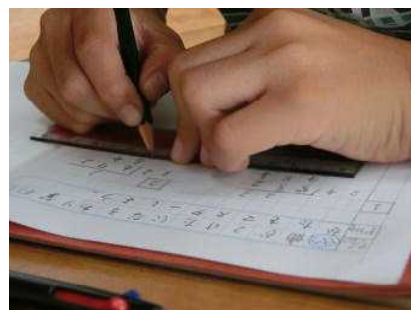
教諭時代から子どもたちに確かな学力を付けたいと様々な取組をしてきました。指導内容を的確に理解し、教材を選び、指導方法に工夫を加えながらの実践でした。そんな中、学力向上に欠かすことのできないことを見つけました。それは『ていねいさ』です。左の写真をご覧

【自信をもって筆算に向かう】ください。算数の学習で「わり算の筆算」をしている児童です。この中に『ていねいさ』に関する要素がいくつか詰まっています。

(答えを見ずに考えてください)

- ① 下敷きを敷いています ② (ミ二) 定規を使って直線を引いています
- ③ 鉛筆を正しく持っています ④ 問題と問題の間(横と下)が空いています
- ⑤ 1マスに1つの数字をていねいに書いています ※ 他にもあるかも…

「あたりまえじゃない」という言葉が聞こえてきそうです。しかし、この当たり前のことがなかなかできないことも事実です。わり算の筆算をする時には、「(商を) たてる→かける→ひく→おろす」という合い言葉を繰り返しながら頑張っ



て頑張っ

て解いていました。内容を理解したら、それが定着するように練習を積み

ます。徹底して鍛えることが大切で 【鉛筆の持ち方のプロ】

です。そんな練習においてもこの『ていねいさ』をゆるがすことのない子どもたちは大いに学力を伸ばしていきます。これは算数に限らず、国語や他の教科の学習においても同様のことが言えると思っています。「学力の向上」も実りの秋を迎えていました。



楽しいひとときをありがとうございました！



【次はどう展開するのかな？】

【パネルに浮かぶ美しい冬景色】

今年も読み聞かせサークル『つくしんぼ』の皆さんによる「夜のお話会」を開催しました。子どもたちや保護者の皆さん、地域の方々総勢約60名が集まりました。『赤とんぼ』（わらべ唄）、『だるまさんが』（連続絵本）、『ぼくとおつきさまと お話したよ』（絵本）、『だじゃれ日本一周』（大型絵本）、『たまごがころん あれあれ』（ホワイトパネル）、『やさいのおなか』（ホワイトパネル）、皆さんようくご存じの『くもの糸』（ブラックパネル）、『五ヶ瀬旅情ひとり旅』（ブラックパネル）、『もちつき』（わらべ唄と手遊び）、五ヶ瀬町に伝わる民話と大変バラエティに富んだ内容であつという間の1時間でした。いつものように、「見る」「聴く」ばかりではなく、一緒に歌を歌ったり、手遊びをしながら友だちとのコミュニケーションをとったりして変化のある「夜のお話会」となりました。特にホワイトパネルやブラックパネルを使ったお話は、楽しく先の展開を予想したり、真っ暗な部屋の中で美しく彩られた幻想的な絵に心を奪われたりしました。また、昨年も披露いただいた『五ヶ瀬旅情ひとり旅』はアカペラの素敵な歌声と五ヶ瀬町の名所がブラックパネルに映し出され、改めて「ふるさと五ヶ瀬のよさ」をみんなが感じ入っているように思いました。子どもたちからはもうすでに、「来年も楽しみだあ！」という声が聞かれました。大変ご多用な中、貴重な時間を演出くださっ



【歌いながらの楽しい手遊び】

たことに心から感謝いたします。また来年もよろしく願いいたします。



【ブラックパネルに歓声！】